




胸椎椎弓形成術をされる方へのスケジュール

*この表はおよその経過をお知らせするものです。状況により予定通りにはならないこともありますので、予めご承知ください。

下関市立市民病院 H 27年11月12日作成

月・日	入院～手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	4～6日目	7～10日目	11～21日目	22日目
・目標	手術の必要性と内容が理解できる。	手術の準備が整う。	術後合併症が起きない。	異常を早期発見できる。痛みがコントロールされている。身の回りのことが自分でできる。日常生活の留意点が理解できる。						
・食事	制限はありません。(医師の指示による) 夕食まで食べることができます。	絶食です。飲物に関しては前日に麻酔科医師の指示をお伝えします。薬は麻酔科医の指示のある方のみ内服します。	絶食です。 	朝からベットを上げ食事ができます。内服も再開します。	制限はありません。(医師の指示による)					
・排泄	排便を確認します。		手術室で尿管を挿入します。	安定した歩行できたらおしっここの管を抜きます。						
・安静度	制限はありません。(医師の指示による)	車椅子か ベッドで手術室に行きます。	翌朝まで寝たままで過ごします。横を向くときは看護師が手伝います。	コルセットを装着します。						
・保清	手と足の爪を切ってください。入浴します。洗濯した肌着に着替えてください。			からだをタオルで拭きます。	5日目以降にシャワー指導があります					
・治療 ・処置 ・検査	リハビリがあります。内服中の薬のチェックがあります。いつも飲んでる薬を持参してください。	点滴をします。抗生剤の点滴があります。 		リハビリを開始します。 			1、3、7、14、21日目に採血があります。7日目にレントゲンがあります。結果によっては他にも検査が追加されることがあります。			
					ドレーンを抜きます。		10日目に抜糸します。			
・肺梗塞 予防	パンフレットによる指導があります。		間欠的空気圧迫装置を装着します。	弾性ストッキングを装着し、運動による予防を行います。						
・説明 ・指導	看護師よりオリエンテーションを行います。手術について主治医より説明があります。(ご家族の同席をお願いします)	家族の方は手術が終わるまで外の控え室で待機して下さい。主治医よりご家族の方へ結果説明があります。		リハビリ継続のため転院を希望の方は早めにお知らせください。治療の進行に合わせて、医師や看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・栄養士・医療相談員がその都度、説明に伺わせていただきます。ご家族にも説明をさせていただきますのでご了承ください。病棟より、ご家族様へ連絡をさせていただきますのでご了承ください。 ※保険等の書類の必要な方は、退院決定後1階11番窓口にご提出下さい。						

退院予定日

- 準備していただくもの
- 前あきの寝巻き2枚(病院でお貸しすることもできます)
- らくのみ
- 入れ歯入れ
- バスタオル 3枚
- T字帯 2枚(おむつの方は不要です)
- タオル 3枚
- リハビリ用の靴(かがまなくても履ける物)
- 運動できる服(上下のパジャマをお貸しすることもできます)
- コルセットの下に身につける肌着(術後3日目から必要になります)
- ティッシュ1箱
- 腹帯 2枚

継続的なりハビリテーションが必要となる患者様には、当院での治療終了後、リハビリを専門的に行う病院へ転院していただくこととなります。ご不明な点は医師や看護師、医療相談員にお尋ねください。

- *ドレーン＝血抜きの管のことです。
- *弾性ストッキング＝足を適度に圧迫して血流量を増加させるための靴下です。病院で用意します。
- *手術前はしっかり腰を洗って下さい。

病名:

主治医:

受持ち看護師:

患者様氏名: